

# 次元を交差する学びのチェックと評価方法

## フォーカス次元

- a. 子どもは身体を前後に揺らす。
- b. 筋肉の過緊張と低緊張を知るため、子どもの膝・仙骨・後頭部に触れるか、視覚的にスキャンする。
- c. 子どもに以下の事を行ってもらう。
  - 1. やる事に注意を十全に向ける。
  - 2. やる事が何かを理解する。
  - 3. やる事の詳細を見つつ、それが全体の一部に過ぎない事を理解する。

ロンプリシジョン

## センタリング次元

- a. 子どもは身体を上下に揺らす。
- b. 子どもに苦手にする事を行っている状況を思い浮かべてもらう。
- c. 子どもを歩かせる。ファシリテーターは、子どもの姿勢や歩いている時にどのように身体を使っているかを書き出す。
- d. 子どもは物を体系づける(整理する)

オーガニゼーション

## ラテラルティ次元

- a. 子どもは身体を左右に揺らす。
- b. 目について:
  - 1. 子どもは上、下、左、右方向を見る。
  - 2. 子どもは何かを読む。
  - 3. 子どもは空中にある物を目で追うか、壁など平面上のレーザー光線を目で追う。
- c. 耳について: 子どもは頭を左に向ける。そして右に向ける。
- d. 書く、あるいは微細運動:
  - 1. 子どもはアルファベットの文字を書く。
  - 2. 子どもは一分間、自分の思いを書きつづる  
あるいは
  - 3. 子どもは何かしらの微細運動の活動をする。  
例:スプーンを持って自分で食べるなど

コミュニケーション